

**19 " Rack mountable
Silicon Disk Subsystem**



**RDS-SD Series
USERS MANUAL**

TEXA




安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | 注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵で区分して説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

| | |
|---|-------------------------------|
|  | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|  | この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。 |

まえがき

この度は、弊社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

このユーザズマニュアルでは、本製品に関する機能、仕様、設定、接続、基本的な使用方法、取り扱い上の注意などについて解説しています。


ご使用の前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

なお、弊社ではお客様のお問い合わせをテクニカルサポートにて承っております。

添付の登録証は、お客様と弊社を結ぶ唯一の接点となりますので、必ず登録証の各項目にご記入の上、すみやかに返送してください。

また、修理を依頼される場合は保証書が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

ご不明な点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

 「付録 4.アフターケアのご案内」

本書の内容の一部および全部の無断転載を禁止します。

本書の内容と実機との間に差異が生じた場合には、その内容に関わらず実機側仕様を優先させていただく場合がございますのでご了承ください。

本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。

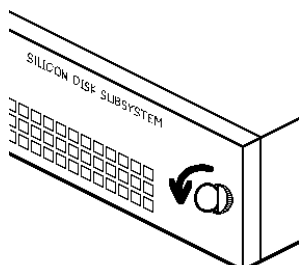
本書の内容につきましては万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡をお願いいたします。

すべてのブランド名、会社名、製品名、ロゴ等は、それらの所有者の商標もしくは登録商標です。

本書は、2003年1月に作成されました。

はじめに

ドライブ装着の確認

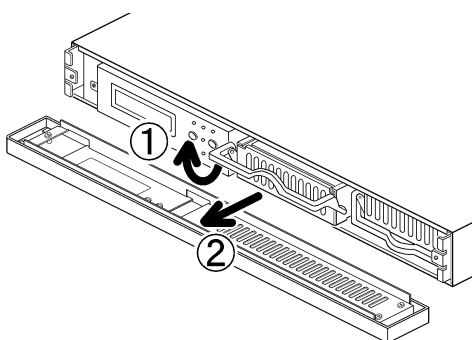


お買い上げ後は、左右にあるフロントパネル取り付けネジにコイン等を使用して、反時計方向にまわして外します。

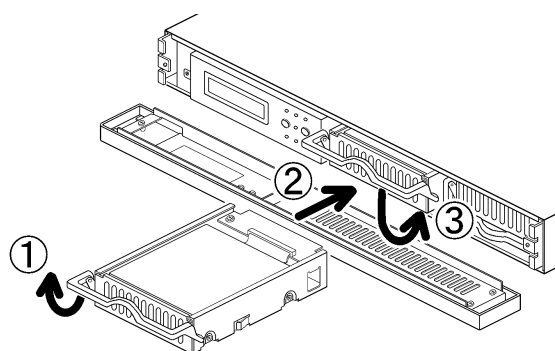
ドライブの装着状態を確認してください。
ドライブが確実に装着されていしないと、RDS-SD の電源を入れた時にブザーが鳴りエラーとなります。

初めてRDS-SD の電源を入れる際は、MODE スイッチを押しながら電源スイッチを入れてください。

ドライブの着脱方法



DRIVE LOCK レバーを持ち上げます。
手前にゆっくり引き抜きます。



DRIVE LOCK レバーを持ち上げます。
水平に奥までしっかり差し込みます。
DRIVE LOCK レバーを下げます

⚠ 注意



バックアップは必ずとる！

ハードディスクは大容量であるため、故障してしまいますとその被害は多大なものとなります。

使用中および保管中のデータが被害を受けた場合、その原因が本製品(ハードウェア)および付属品の故障に起因するものであっても保証しかねますので、被害を最小限に押さえるためにも必ず定期的に別の装置にバックアップを行うようにしてください。

取り扱い上の注意

取り扱い

警告



禁止

キャビネットをあけない。
感電の原因になります。

分解しない。
火災やけがの原因になります。

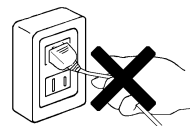
改造しない。
火災やけがの原因になります。

注意



電源ケーブルの抜き差しはプラグを持って行う。
感電の原因になります。

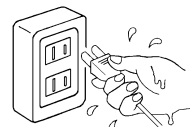
ケーブル類はひっぱらない。
火災や感電の原因になります。



禁止

電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
ショートや発熱の原因となり、火災や感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



ドライブユニットを抜く時はつめをかけない。
けがの原因になります。

ドライブ挿入時ユニットケースの中に指を入れない。
けがの原因になります。

 **注意**

ドライブユニットの取扱いは両手でしっかり持つて行う。
落下によりけがの原因になります。

ACCESS LED およびSD LED 点灯中は電源を切らない。
正常に動作しなくなります。

アクセス中ドライブユニットは抜かない。
正常に動作しなくなります。

輸送はお買い上げの時の梱包状態で行う。
落下、衝撃で故障の原因になります。



禁止

金属のエッジで手をこすらない。
けがの原因になります。

開口部、ファン等に指や手、異物を入れない。
発火、感電、けがの原因になります。

足場代わりにしない。
けがの原因になります。

必ず定期的にバックアップを行うように心がけてください。

RDS-SD は、ハードウェア的な故障(ディスクに傷が付くなど)にのみ有効です。
ソフトウェア的な障害によるサポートは行いません。
万が一、ソフト的な障害が起こると、データが消える、書き換えられるなど被害は非常に大きなものとなります。

揮発性のベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

変色、変形の原因になります。
汚れた場合は、柔らかい布に水、アルコールまたは中性洗剤を含ませて軽く拭き取ってください。

温度差を急に与えると結露が発生します。

発生した場合は、必ず時間をおいて結露がなくなってから使用してください。

設 置

 **警告**



移動または運搬するときは両手でしっかり持つ。
落下してけがの原因になります。

重量に耐える場所に設置する。
けがの原因になります。

アース線を接続する。
感電の原因になります。



禁 止

可燃性雰囲気中で使用しない。
火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない。
火災の原因になります。

振動、傾斜した場所に設置しない。
落ちたり倒れたりしてけがの原因になります。

定格入力電圧以外で使用しない。
火災やけがの原因になります。AC100V でご使用ください。

ケーブル類、終端抵抗等は使用目的以外で使用しない。
けがの原因になります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しない。
電源ケーブルが破損して火災や感電の原因になります。

 **注意**



禁 止

直射日光の当たる場所や、異常に温度が高い場所に置かない。
内部温度が上昇して火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

電源ケーブルは熱器具に近づけない。
電源コードの被ふくが溶けて火災や感電の原因になります。

注意



配線は接続する全ての機器の電源を切って行う。
感電の原因になります。

故障や異常の時、電源プラグを抜く。
煙が出る、変な臭いがする等の異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

磁気を発生するものを近づけない。
ハードディスクドライブの情報が消えます。

フロントパネルを外したまま移動しない。
ドライブユニットが抜けてけがの原因になります。

製品上面や周囲に液体容器や金属類を置かない。
製品の内部に入り火災や感電の原因になります。

衝撃や振動の加わる場所は避けてください。

ディスク面を傷つけ故障の原因になります。

電源をとる際は、複写機などの消費電力の大きい機器と同じ AC ラインからとらないでください。

湿気やほこりの多い場所で使用しないでください。

テレビ、ラジオ、スピーカなどの強い磁界を発生する電子機器の近くでは使用しないでください。

中に水分が入る恐れのある場所で使用しないでください。

水分が入った場合には、すぐにコンセントを外してください。

目 次

| | |
|----------------|---|
| 安全上のご注意 | 1 |
| まえがき | 2 |
| はじめに | 3 |
| 取り扱い上の注意 | 4 |

第 1 章 RDS-SD の概要

| | |
|----------------------|----|
| 1.1 はじめに | 12 |
| 1.2 特 長 | 13 |
| 1.3 機 能 | 14 |
| 1.4 梱包内容の確認 | 15 |
| 1.5 各部の名称と働き | 16 |
| 1.6 取り付け / 接 続 | 18 |
| 1.7 他の機器の増設 | 22 |

第 2 章 セットアップ

| | |
|-------------------------------|----|
| 2.1 セットアップ概要 | 26 |
| 2.2 セットアップ画面の使い方 | 26 |
| 2.3 セットアップ画面とその動作 | 27 |
| 2.4 バックグラウンドパラメータ解説 | 34 |
| 2.4.1 バックグラウンドパラメータ設定方法 | 34 |
| 2.4.2 パラメータ確認方法 | 41 |
| 2.5 スイッチ操作方法一覧 | 42 |

第 3 章 フォーマット

| | |
|----------------------------|----|
| 3.1 Linux | 46 |
| 3.2 Windows xp | 53 |
| 3.3 Windows 2000 | 59 |
| 3.4 Windows NT | 65 |
| 3.5 Windows 95/98/ME | 70 |
| 3.6 SUN SPARC | 72 |
| 3.7 その他の OS | 80 |

第4章 RDS-SD 状態遷移

| | |
|--|----|
| 4.1 RDS-SD 状態遷移概要 | 84 |
| 4.2 「ONE DOWN」の処理 | 85 |
| 4.3 「SYSTEM DOWN」の処理 | 87 |
| 4.4 正常動作表示 | 89 |
| 4.5 ディスクドライブエラー表示 | 89 |
| 4.6 ディスクドライブリカバー表示 | 89 |
| 4.7 電源およびFANのエラー表示 | 90 |
| 4.8 その他の機能表示 | 90 |
| 4.8.1 RATE および同期状態表示 | 90 |
| 4.8.2 Cache のチェック表示 | 91 |
| 4.8.3 Patrol Mode 切り替え表示 | 91 |
| 4.9 アレイコントローラエラー表示 | 92 |
| 4.10 リトライエラー検出機能表示 / ドライブSENSE DATA 表示 | 96 |
| 4.11 その他のエラー表示 | 97 |

付 録

| | |
|--------------------------------|-----|
| 1 . 製品仕様 | 100 |
| 2 . インターフェースコネクタ | 102 |
| 3 . Windows のデータ転送速度の高速化 | 103 |
| 4 . アフターケアのご案内 | 109 |

RDS-SD 管理ノート
修理依頼書

